

平成28年度山梨県南都留地域フォーラム提案書

第2分科会

西桂町立西桂中学校

教諭 渡邊 正也

「地域に生き地域を愛し地域に誇りをもつ生徒の育成」 ～町の行事への参加を通して～

1, はじめに

全国学力・学習状況調査の生活習慣に関する質問紙調査によると、「人の役に立つ人間になりたい。」「地域の行事に進んで参加している。」の項目に対して、「はい」と答えた生徒の数は、山梨県は全国平均を大きく上回っています。

しかし、本校においては平成27年度の調査によると、「地域の行事に進んで参加している。」生徒の数は45%、「地域のできごとに関心がある。」と答えた生徒は、48%と、県平均を大きく下回る結果となりました。そもそも地域に関心がないのだから、地域の行事に参加しない結果も当然だと肯けます。その原因をさらに調査した結果が次の通りです。

(現3年生を対象に昨年度の様子を調査)

- ・実施日、実施場所がわからなかったため。
- ・部活動や試合と重なったから。
- ・町の文化祭や体育祭には中学生は行っても意味がないから。
- ・元旦マラソンの当日は寒いし面倒だから。

受け身的参加型の行事に対し、地域の一員として、中学生として何ができるか、役割を持たせることが大切だとする学校長の願いのもと、町へのはたらきかけを通して新しい取り組みが始まりました。

2, 取り組み内容

(1) 「町総合防災訓練」

8月の最終土曜日に実施される防災訓練では、学校としては当初、小中学生の引き渡し訓練のみによる参加の予定でした。しかし、「中学生は大人として扱われる、実際に災害が起きたとき、どこに避難したらよいのか、自分たちは何をしなければならぬのかを知る必要がある。防災訓練をそういう機会としてとらえたい。」とする学校長の考えのもと、次のような形で参加することとなりました。今年度が二年目となります。

① 日時 平成28年8月27日(土) 8時30分から12時00分

② 参加機関

西桂町・西桂町議会・自主防災組織・防災リーダー・消防団・交通安全協会
民生委員・西桂町社会福祉協議会・日赤奉仕団・婦人会・富士五湖消防本部
大月警察署・西桂小学校・西桂中学校

③ 防災訓練重点事項

- ・中学1, 2年生…一般町民と同様に避難訓練に参加し、避難所に移動するまでの間に、地域を観察し地域を知り地域の人とかかわることによって防災意識を高める。

- ・ 中学3年生…避難所の開設を役場職員と協力して行うことで地域貢献を考えさせる。

④ 日程

- 9時00分 防災無線とサイレンを合図に避難開始（各地域の一時避難場所へ）
- 9時30分 避難所への移動（小・中学校体育館）
- 10時00分 避難所到着，避難所での体験・見学
- 11時45分 解散

中学1，2年生の生徒は，自宅から家族と一緒に一時避難し，組長の指示に従い徒歩で避難所まで地域の人々と行動を共にします。その際，要支援者（高齢者・障害者・幼児）への声掛けや支援をします。



中学3年生は，町民の避難所になる小・中学校体育館に直接集合し，避難所開設の手伝い（受付案内係・名簿記載係・炊出し係・福祉避難室係等）に分担して行動します。



(2) 「三つ峠歩け歩け運動」(西桂中強歩大会)

毎年5月の第4日曜日，定例の町行事として行われている三つ峠歩け歩け運動。部活動体力づくりの一環として，部活単位で参加したことも過去ありました。町から中学生参加の要請もありましたが，実施時期が中間テスト前ということもあって，ここ数年は自由参加の形となり中学生の参加は少ない状況となっていました。

一方，毎年秋に実施される学校行事の強歩大会。PTA役員や保護者以外に交通安全協会やスクールガードリーダー等，地域の人々の協力がなくては実施できない取り組みです。しかし，日程の都合上，参加できない人も多く，生徒の安全・安心の面で危惧されることもありました。

その双方の課題を解決するための試みとして，今年度初めて町の行事と学校行事をタイアップさせて「三つ峠歩け歩け運動」(西桂中強歩大会)が実現しました。

日程は次の通りです。

9時00分	開会式（町主催）
9時30分	歩け歩け運動一般参加者出発（学校グラウンドスタート）
9時45分	中学生女子スタート
10時00分	中学生男子スタート
12時00分	最終ゴールタイム

歩け歩け運動参加者は三つ峠だるま石を折り返し、そのすぐ下の公園で豚汁や飲み物をもって解散となりますが、大会参加の中学生はゴールがスタート地点と同じ中学校までの全行程12kmとなっています。ゴール後はPTAのお母さん方から手作りの豚汁が振るまわれました。（具材は体協からいただき、前日に生徒が切りそろえ準備しました。）



3. おわりに（成果と課題）

中学生が主体的に参加する形となって2年目を迎えた「町総合防災訓練」と、今年度初めて「三つ峠歩け歩け運動」と合体型となった「強歩大会」。それぞれの行事を終えての生徒の感想を以下に紹介します。

【町総合防災訓練に参加して】

私は受付を担当しました。大人の方がどのようにやるか教えてくれました。たくさんの方が避難してきて書き方を教えたら、ほとんどの人がありがたうと言ってくれました。私は今回の避難訓練で助け合うこととの大切さを学びました。（3年）

炊出し担当ですいとんを作っていました。食べ終わり帰っていく町民の人から、「ごちそう様。」とか「おいしかったです。」などの声をかけていただき、地元の方の温かさを感じこれからも多くの人とかかわっていきたいと思いました。（3年）

自分は避難所で受付を担当しました。防災訓練から学んだことは、いざというときに自分たちがリーダーとなり引っ張っていくということを学びました。（3年）

非常時のけがの対応について学ぶことができ役に立った。地震が起きたとき、どこに逃げればいいのか、一番にしなくてはいけないことはどんなことかなどを確認できて良かった。（2年）

避難所設営のときは、自分からできることをさがしてすることができて良かった。普段あまり話す機会のない地域の人たちと話すことができたので良かった。（2年）

西桂町は高齢者が多く私たち中学生がうまく支援をする必要があると感じた。（2年）

昨年の訓練よりも流れがわかっていたので、よく動くことができた。組長さんにも「ありがとう。」と言われ、とてもうれしかった。(2年)

小さい子の安全を見守ったり、高齢者のペースに合わせて歩いたり、常に安全に気をつけることを学べたと思います。(2年)

三角巾はけがや骨折したときに固定したり包帯として使えるのはすごく便利だと思った。今日、参加しなかった家族にも教えてあげたいと思った。(1年)

周りを見るとほとんどの人がおじいさん、おばあさんでした。もし地震が起きて避難所に逃げられなかったおじいさん、おばあさんがいたら、すぐに駆けつけて助けようと思いました。(1年)

初めて防災訓練に参加しました。3年生や2年生が積極的に手伝いをしている姿を見て、来年は3年生のようにお年寄りに声をかけて手伝いたいです。また、話をよく聞いて災害時にすばやい行動ができるようにしたいです。お年寄りの手伝いをするのは何かあるときだけでなく、日々の生活でもできるようにしたいです。(1年)

【三つ峠歩け歩け運動（西桂中強歩大会）に参加して】

- ・町の行事に参加者が少なくなっている中、中学生全員が参加することで盛り上がった。
- ・町の人との交流ができた。
- ・よりたくさんの人に私たちの頑張りを見てもらえるので良かった。
- ・中学生も地域の一員だということを自覚できた。
- ・声を掛け合い、地域の人と触れ合うことができた。
- ・「頑張りよ」と応援されてうれしかった。
- ・見守ってくれる人が増えて、安心して走ることができた。
- ・小さい子ども連れの家族やお年寄りなど、一般の参加者とぶつかりそうになることが心配。

※平成28年度の全国学力・学習状況調査によると、「地域のできごとに関心がある。」と答えた生徒の数値は72%に、そして、「地域の行事に進んで参加している。」の値は61%にまで伸びています。この一つの要因として防災訓練参加の取り組みが挙げられます。地域の人々から温かい言葉をかけてもらったり、感謝されることで自己有用感を抱き地域貢献への意欲が高まるのが生徒の感想から見て取れます。まず自分が変わる。地域も変わる。そして、自分を変えてくれた地域を愛し、地域に誇りをもつ生徒が育つ環境づくりに、学校が果たす役割は大きいと感じました。まずは、中学生を大人として認め、役割を与える機会を保障することが大切です。

今回の取り組みは、生徒が地域の行事に関心を持つ機会を与えたに過ぎません。今後さらに、生徒が自ら積極的に地域の行事に参加することを目指していきたいものです。

最後に、バトンの受け渡しを感じさせる生徒の感想を紹介して終わりとします。

「中学生の役割の重要さがよくわかった。育成会など中学生が小学生のために、手伝えるようになってほしい。」(3年)

「2、3年生が地域のために働いている姿を見て、来年は自分もそうになりたい。」(1年)

中学生と地域のつながりは着実に強まっています。

